

2024年1月1日

東日本電信電話株式会社 神奈川事業部

【年頭所感 2024】課題解決と価値創造を地域と共に

東日本電信電話株式会社 執行役員 神奈川事業部長 相原 朋子から2024年・年頭所感をお伝えします。

■2023年を振り返って

東日本電信電話株式会社(以下、「NTT 東日本」)は澁谷社長体制において、地域の多様な問題を解決し新たな価値創造を支える「ソーシャルイノベーション企業」をめざしており、私もその歩みを神奈川から進めたいとの思いを持ち、昨年6月に着任しました。

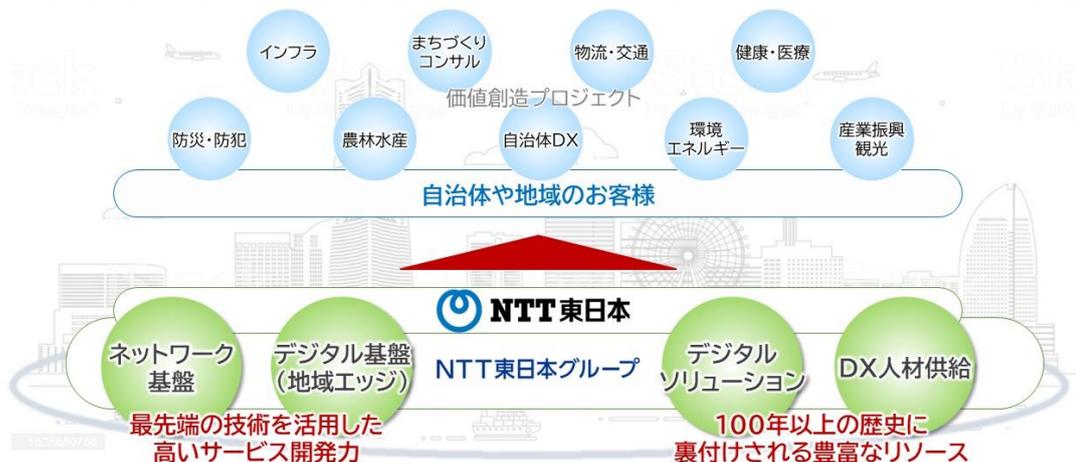
昨年を振り返ると、多くの地域の方と協働できる環境が整ってきたと感じています。自治体とのパートナーシップが良い一例で、横浜市、南足柄市、大磯町とは、デジタル技術を生かした「まちづくり推進」「脱炭素」「防災力強化」に関する新たな協定をそれぞれ結びました。

更には、イベント時の回遊促進、人流分析、映像配信、高品質通信などの面でも、多くの企業や主催団体に私どものICT(情報通信技術)をご活用いただきました。社内では多様な働き方を実現するためにリモートワークが基本となり、その業務運営基盤として各分野の業務DX(デジタルトランスフォーメーション)が実現できています。その延長線上で、デジタル人材育成やダブルワーク(兼業)も進み、自治体や地域企業に対するの支援は、伴走型の人的リソース(資源)も含めて多岐にわたるようになりました。



執行役員 神奈川事業部長 相原 朋子

NTT東日本グループの取り組み



NTT東日本の強みを徹底活用し、地域の課題解決や価値創造に貢献

■2024 年に向けて

昨年 10 月に実施した業務運営体制見直しによる「まちづくり専担体制構築」「ビジネス営業の上位シフト」「中堅・中小企業市場へのCRM型(カスタマーリレーションシップマネジメント)アプローチ」「エンジニアリング力の新たな活用」等の効果を最大限に発揮し、これまでの取り組みを更に進化させ、NTT東日本神奈川グループが持つ技術、アセット、ノウハウを生かして、社会実装につなげていきたいと考えています。

私が6年ぶりに神奈川に戻り、多くの魅力を再認識する反面、一次産業の担い手不足、観光・製造業での労働力不足、地域経済衰退といった課題も感じています。もちろん、世界・地球規模での資源高騰、待ったなしの地球温暖化や激甚化する災害など多数の課題も顕在化しています。

日本の縮図と言える神奈川で、電信電話サービス発祥の地である横浜で、課題解決・価値創造に向けた前線に立ち、これらの課題を解決するだけにとどまらず持続可能な価値を創造するソーシャルイノベーション型の取り組みをすべてのステークホルダーの方々の共感を得ながら推進していきます。

特に、NTT東日本神奈川グループでは、オンサイトPPA・残渣・EVソリューションといったGX(グリーントランスフォーメーション)推進と、ドローン・ノーコード開発ツール・コンサルティングを含めた総合防災ソリューション展開を新規注力分野として位置づけ、取り組みを進めます。

最後になりますが、NTT東日本グループは「つなぐ使命」のもと、これまで取り組んできた、光ファイバーを利用したブロードバンドアクセスサービスを提供する等、情報通信事業者として、高品質で安定した通信インフラをお客様第一・安全第一で提供し続けていきます。

そして、すべての事業活動を通じ、社会の持続的な発展に貢献していくことを経営の基本姿勢として、社員一人ひとりが事業活動を通じてCSR活動に取り組んでおり、ICTを活用した付加価値の高いサービスをさまざまな分野に提供することで、「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に向けて取り組んでまいります。地域とともに歩むソーシャルイノベーション企業として、地域の皆様に頼りにしたいいただける会社であり続けられるよう、本年も邁進してまいります。

NTT東日本 神奈川グループの今後の注力分野



NTT-EAST Confidential

本件に関する問い合わせ先

NTT東日本 神奈川事業部 企画総務部 企画部門 広報担当 水谷、金石、徳丸

TEL: 045-226-6123 E-mail: kanagawa-kouhou-ml@east.ntt.co.jp